

## 2020年3月期決算 及び中期経営計画

2020年6月8日

大崎電気工業株式会社  
代表取締役社長 渡辺光康

本日は、当社の決算及び中期経営計画の説明会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス拡散防止のため、今回はテレホンカンファレンス方式で開催させていただくことを、ご承知おきください。

## 1. 2020年3月期 決算概要（前期比増収減益、計画比売上・利益ともに未達）

- **国内**：スマートメーターの需要減、価格低下により、前期比**減収減益**
- **海外**：新興国の大型案件等が加わり**増収増益**（⇒黒字化）  
年初計画比では部材の評価損計上などにより、**利益計画未達**

## 2. 2021年3月期 業績予想（前期比減収減益）

- 売上高800億円（**新型コロナ影響額**：△120億円）  
営業利益15億円（**新型コロナ影響額**：△27億円）
- **国内**：スマートメーターの需要減、価格低下の継続 + 新型コロナウイルス感染拡大による当社製品・サービス設置の一時的停滞により、前期比**減収減益**
- **海外**：新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）によるスマートメーター設置の一時的な停滞により、前期比**減収減益**

## 3. 中期経営計画（2021-25年3月期）

- 新型コロナウイルス感染拡大による今期業績の低下により、**昨年5月公表値より1年後ろ倒し**
- **国内**：アフターコロナの接触削減の**新たな生活様式へ向けた成長可能性**
- **海外**：各国**ロックダウン緩和後の需要拡大**へ向けた生産・供給体制の強化

Copyright (C) 2020 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved 2

サマリーのページをご覧ください。

テレホンカンファレンスということで、途中で退席される方もいらっしゃるかと思っておりますので、冒頭で本説明会のサマリーをまとめました。

1点目の20年3月期の決算ですが、前期比では増収減益、年初計画比では、売上、利益ともに未達となりました。売上面では、国内のスマートメーターの需要減、価格低下による影響が大きく、利益面では、海外における部材の評価減等の一過性費用が主な要因です。ただし、海外において、中東におけるスマートメーター案件等が大きく寄与し、黒字化できたことは、今後のグループ成長へ向けて、一定の成果をあげられたと考えています。

2点目の21年3月期ですが、前期比 減収減益の計画となります。国内は、引き続きスマートメーターの需要減等の影響が続くものの、海外において業績拡大を予定しておりました。しかしながら、各国のロックダウンによりスマートメーターの設置が滞っており、そのリスクを織り込んでいます。

3点目の中期経営計画ですが、今期の新型コロナウイルスの影響により、昨年5月に公表した目標数値を、1年後ろ倒しにしました。

国内では、アフターコロナの新たな生活様式へ向けた動きが、後程説明します、当社のキーレスエントリーのような、非対面、非接触に最適な新規分野の成長を後押しするとみており、事業拡大に取り組んでまいります。

海外では、ロックダウン解除後の需要拡大へ向けて、いかに生産・供給体制を強化するかが重要と考えています。

## Agenda

---

1. 2020年3月期 決算概要
2. 2021年3月期 業績予想
3. 中期経営計画（2021-25年3月期）

## 1. 2020年3月期 決算概要

---

1-1 損益計算書

1-2 貸借対照表

1-3 キャッシュフロー計算書

## 1-1 損益計算書

### 前期比

- **売上高**：海外スマートメーターの販売好調により増収  
英国+51億円、イラク・クルド自治政府+54億円、カンボジア+20億円
- **営業利益**：上記に伴い海外増益も、スマートメーターの需要減、価格低下による国内の減益を補完するまでに至らず、全体では減益

### 年初計画比

- **売上高**：国内スマートメーターの需要減、国内ソリューション等の売上の期ずれにより未達
- **営業利益**：国内は、上記売上未達をコスト抑制、スマートメーター設置工事の伸びで補完も、海外で不用部材の引当金、空輸費用の増加等の一過性コスト計上により未達

(百万円)

	19/3期 実績	20/3期 年初計画	20/3期 実績	前期比	年初計画比
売上高	82,089	92,000	90,069	7,980	-1,931
国内	57,735	55,000	53,475	-4,260	-1,525
海外	24,353	37,000	36,593	12,240	-407
営業利益	4,299	4,300	3,691	-607	-609
国内	5,454	2,900	3,237	-2,216	337
海外	-1,148	1,400	440	1,588	-960
調整額	-7	0	13	-	-
経常利益	4,293	3,900	3,544	-748	-356
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,806	1,600	1,197	-609	-403

\* 国内：大崎電気工業及び国内子会社 海外：海外子会社（管理会計上の参考値）

Copyright (C) 2020 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved 5

それでは、前期の実績について、詳しく説明します。  
左上に1-1と記載しているページをご覧ください。

損益計算書ですが、  
前期は売上高901億円、営業利益37億円、当期純利益は12億円となりました。

売上高は、海外の増収、特に英国で+51億円、  
イラク・クルド自治政府で+54億円、  
カンボジアで+20億円の増収が大きく貢献し、  
前期比80億円の増収となりました。

営業利益は、スマートメーターの需要減、価格低下による国内の減益を  
海外の増益が補完するまでに至らず、全体では6億円の減益となりました。

年初計画比では、  
売上高は、国内の需要減の影響が想定以上で19億円の未達、  
営業利益は、国内はコスト抑制等により計画を達成したものの、  
海外において、英国プロジェクトのメーターの仕様変更により、  
不用となった部材の引当や、主要顧客への納期を優先するための空輸費など、  
一過性コストの計上により、6億円の未達となりました。

## 1-2 貸借対照表

- 海外事業拡大へ向けた過渡期にあり、現預金が一時的に減少
- 主に海外における、適正な在庫水準の維持、売掛金の回収により、現預金の水準を高めていく

	19/3期末	20/3期末	増減	主な増減理由
総資産	98,314	97,962	-351	流動資産：海外売掛金増加、 それに伴う現預金の減少 固定資産：会計基準変更に伴う リース資産計上により増加
流動資産	57,923	56,980	-942	
固定資産	40,391	40,981	590	
負債合計	39,432	39,324	-107	流動負債：仕入債務の一時的な減少 海外：短期借入金⇒長期借入金
流動負債	33,260	25,934	-7,325	
固定負債	6,172	13,390	7,217	
純資産	58,881	58,637	-244	
自己資本	47,695	46,790	-905	
非支配株主持分	10,710	11,303	592	
その他	474	544	69	
自己資本比率	48.5%	47.8%	-0.8%	

1-2をご覧ください。

貸借対照表ですが、総資産、負債、純資産ともに、総額は前期末と比べて大きな変動はありません。

ただし、海外事業の拡大へ向けた過渡期にあり、売掛金の増加、仕入債務の減少により、一時的に現預金が減少しております。

また、主に海外事業の拡大へ向けて、在庫が205億円と高い水準にあります。各国のロックダウンの状況をタイムリーに情報収集し、その後の需要拡大へ向けて、しっかりと在庫コントロールを行ったうえで、製品を供給してまいります。

さらに、海外の売掛金回収により、現預金の水準を高めていきたいと思っております。

## 1-3 キャッシュフロー計算書

- 海外成長へ向けた過渡期、国内の利益水準の低下に伴い、2020年3月期の営業キャッシュフローは△4億円
- **2021年3月期は、海外における売掛金回収、在庫コントロールの強化等により、新型コロナウイルスによる影響を織り込んでも、営業キャッシュフローはプラスに転じる見込み**

	20/3期 実績	主なキャッシュの増減	
		国内	海外
税金等調整前四半期純利益	3,474		
売上債権の増減額（△は増加）	-2,313	増加	減少
たな卸資産の増減額（△は増加）	-968	減少	
仕入債務の増減額（△は減少）	-3,830	減少	減少
その他（減価償却費 他）	3,243		
営業活動によるキャッシュ・フロー	-394		
投資活動によるキャッシュ・フロー	-4,120		
短期借入金の純増減額（△は減少）	-3,124		減少
長期借入金の純増減額（△は減少）	5,024		増加
その他	-1,571		
財務活動によるキャッシュ・フロー	328		
現金及び現金同等物に係る換算差額	130		
現金及び現金同等物の期首残高	16,422		
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,366		

Copyright (C) 2020 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved 7

1-3をご覧ください。  
キャッシュフロー計算書です。

先ほど貸借対照表で、ご説明したとおり、  
海外事業の拡大へ向けた過渡期にあることに加え、  
国内の利益減少により、  
営業キャッシュフローが4億円のマイナスとなりました。

今期は、海外における売掛金の回収、在庫コントロールの強化により、  
営業キャッシュフローはプラスに転じ、正常な水準へ回復していく見込みです。



## 2. 2021年3月期 業績予想

---

### 2-1 業績予想

### 2-2 業績予想: 国内外

\*新型コロナウイルス拡散による業績への影響を織り込んでいます。



## 2-1 業績予想

### 通期計画

- 海外成長により、連結でも増収増益を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、通期で前期比売上高100億円の減収、営業利益22億円の減益計画

(百万円)

	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q計画(*)	前年 同期比	20/3期 実績	21/3期 計画(*)	前期比
売上高	43,580	35,000 (-6,500)	-8,580	90,069	80,000 (-12,000)	-10,069
営業利益	2,033	-500 (-1,500)	-2,533	3,691	1,500 (-2,700)	-2,191
経常利益	1,946	-700 (-1,200)	-2,646	3,544	1,600 (-2,200)	-1,944
親会社株主に帰属 する当期純利益	845	-1,200 (-1,000)	-2,045	1,197	100 (-1,800)	-1,097

\*( )内は、新型コロナウイルス拡散による影響額

次に、今期の計画について説明します。  
2-1をご覧ください。

海外は1月から新年度に入っており、当初は、海外の成長により増収増益を見込んでおりましたが、新型コロナウイルスによる影響を織り込み、通期で売上高800億円、営業利益15億円、当期純利益1億円を計画しています。

この厳しい環境下、今期を赤字にせず乗り切り、来期以降の成長へつなげていきたいと思っております。

## 2-2 業績予想：国内外

### 前期比

- **国内**：スマートメーター需要低迷、価格競争の継続、ソリューションサービス、新規事業の大きな伸長は来期以降を前提に、もともと**厳しめの計画**これに**新型コロナウイルス拡散による影響を織り込み、減収減益計画**
- **海外**：英国、オセアニアにおける締結済契約に基づき**成長を見込んでいたが、主要国のロックダウンによる影響額を織り込むと、減収減益計画**

(百万円)

	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q計画	前年 同期比	新型コロナ 影響額	20/3期 通期実績	21/3期 通期計画	前期比	新型コロナ 影響額
売上高	43,580	35,000	-8,580	-6,500	90,069	80,000	-10,069	-12,000
国内	24,915	23,000	-1,915	-1,500	53,475	50,000	-3,475	-2,000
海外	18,665	12,000	-6,665	-5,000	36,593	30,000	-6,593	-10,000
営業利益	2,033	-500	-2,533	-1,500	3,691	1,500	-2,191	-2,700
国内	1,474	100	-1,374	-500	3,237	1,500	-1,737	-700
海外	561	-600	-1,161	-1,000	440	0	-440	-2,000
調整額	-3	-	-	-	13	-	-	-

\*国内：大崎電気工業及び国内子会社 海外：海外子会社（管理会計上の参考値）

2-2をご覧ください。

今期計画を、上期・通期、国内外別に記載し、それぞれ、新型コロナウイルスによる影響額を記載しています。

国内は、スマートメーターの需要低迷、価格競争の継続、ソリューションサービス、新規事業の大きな伸びは来期以降を想定しており、もともと**厳しめの計画**としていました。これに、**新型コロナウイルスによる影響を織り込み、減収減益計画**としています。

海外は、英国、オセアニアにおいて、すでに締結している契約に基づき、**成長を見込んでいたが、主要国のロックダウンによる影響額を織り込むと、減収減益の計画**となります。

## 3. 中期経営計画（2021-25年3月期）

3-1 中期経営計画の計数目標

3-2 海外事業の展開

3-3 国内事業の展開

3-4 グループ経営基盤の強化

\*新型コロナウイルス拡散による業績への影響を、2021年3月期計画に織り込んでいますが、2022年3月期以降の中計目標／イメージには織り込んでおりません。

### 3-1 中期経営計画の計数目標

(億円)

	20/3期 実績	21/3期 計画	22/3期 目標	23/3期 目標	25/3期 イメージ
売上高	900	800	1,000	1,050	—
営業利益	37	15	50	60	80以上
営業利益率	4.1%	1.9%	5.0%	5.7%	—
経常利益	35	16	47	57	—
当期純利益	12	1	30	35	—
純利益率	1.3%	0.1%	3.0%	3.3%	—
ROE	2.5%	0.2%	6.0%	7.0%	9%以上
設備投資額	23	28	25	25	—
減価償却費	29	27	26	26	—
研究開発費	32	32	32	32	—

期	ROE (%)
20/3期	2.5%
21/3期	0.2%
22/3期	6.0%
23/3期	7.0%
25/3期イメージ	9%以上

続きまして、中期経営計画について説明します。

3-1をご覧ください。

当社はローリング方式により、毎年中期経営計画の目標数値を見直します。

今回は、昨年5月に公表した中期経営計画に対し、

新型コロナウイルスの影響を考慮して、目標数値を1年後ろ倒しにしております。

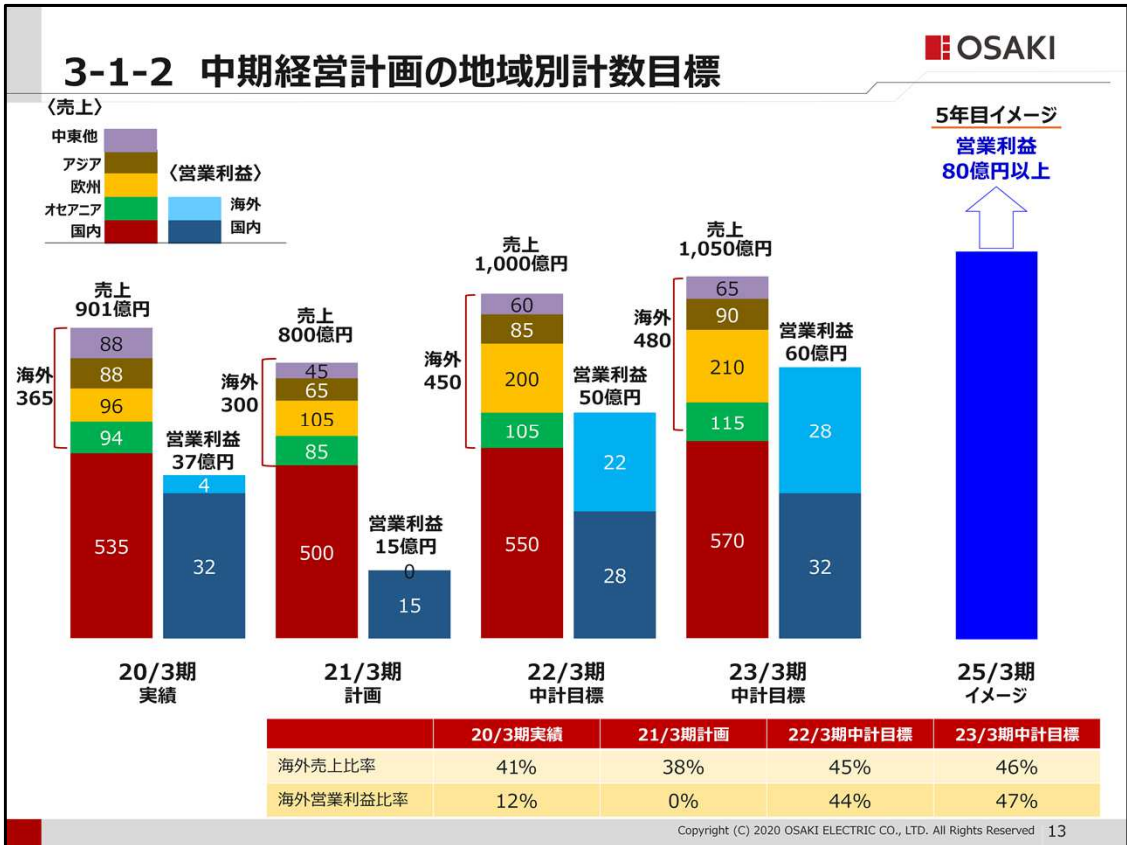
具体的には、

22年3月期は、売上高1000億円、営業利益50億円、ROE6%、

23年3月期は、売上高1050億円、営業利益60億円、ROE7%、

そして5年後となる、25年3月期のイメージとして、

営業利益80億円以上、ROE9%以上を目指します。

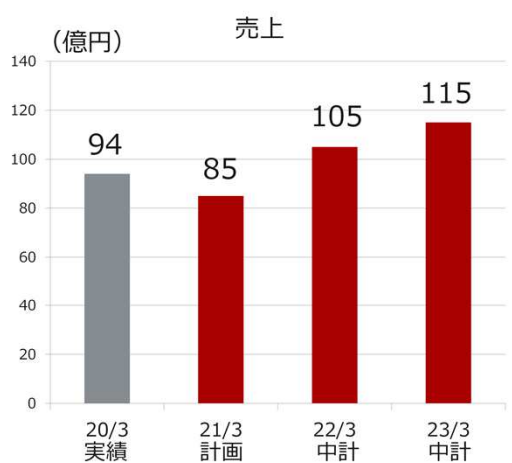


3-1-2をご覧ください。

こちらのグラフは、売上高を地域別、営業利益を国内外別に記載したものです。ご覧のとおり、3年後の23年3月期には、グループの売上高、営業利益の50%近くが、海外となる見込みです。

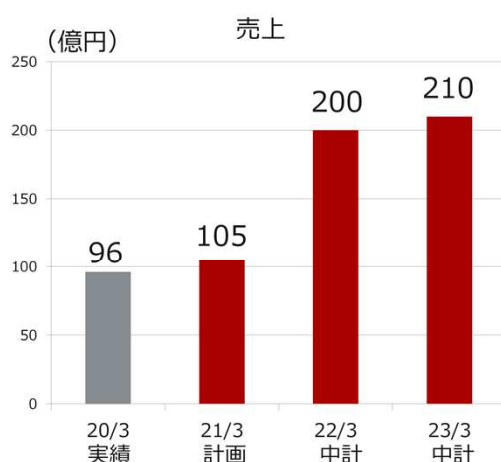
### 3-2 海外事業の展開

#### オセアニア市場



- 20/3：一部顧客からの注文期ずれにより年初計画未達も、シェア75%程度を維持
- 21/3は一部州におけるロックダウンにより、メーター設置が遅延も、その後は需要拡大の見通し

#### ヨーロッパ市場（英国プロジェクト）



- 20/3：英国プロジェクト期限延長等により、売上は年初計画未達も、4Qより売上伸長
- 21/3はロックダウンによりメーター設置が遅延も需要は継続、22/3期からピーク期へ入る見込み

それでは、その海外事業展開について説明します。  
3-2をご覧ください。

まず、オセアニア市場は、  
前期は一部顧客からの注文の期ずれにより、計画未達となりましたが、  
依然として75%程度の高いマーケットシェアを維持しています。

今期はロックダウンの影響により、減収となるものの、  
その後は105億円、115億円と安定的に成長する見通しです。

次に、英国プロジェクトです。  
前期は、英国政府がプロジェクトの期間延長を公表したことから、  
受注が一時減少したことや、  
顧客からの当社量産モデルに対する、仕様変更への対応などにより、  
年初計画145億円を大幅に下回りました。

今期は、受注の増加に対し、量産モデルの開発は完了しており、  
生産につきましては、自社工場に加え、量産に対応するため外注も立ち上げ済で、  
大幅な増収を見込んでおりました。  
しかしながら、3月からのロックダウンにより、メーター設置が停滞しています。

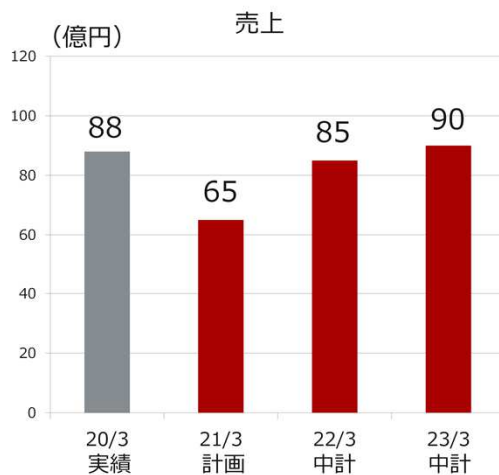
現在、段階的に経済活動が再開されており、  
6月から7月にはメーター設置が再開されることを前提に、  
105億円の売上高を見込んでいます。

来期からはピーク期に入り、毎年200億円以上の売上高が続く見込みです。



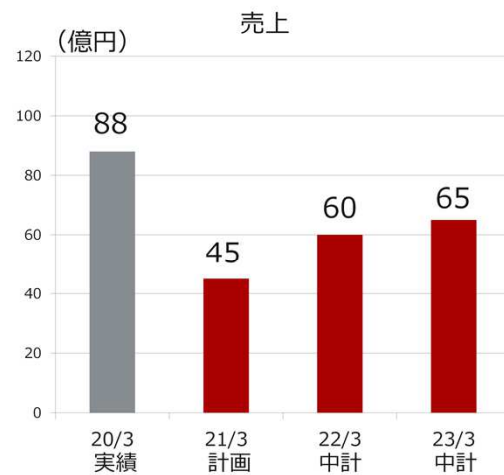
### 3-2-2 海外事業の展開

#### アジア



- 20/3期：カンボジア向け売上（26億円）が大きく貢献
- 21/3期は上記の反動減、ロックダウンの影響により減少も、中期的に安定成長を見込む

#### 中東等・新興国



- 20/3期：イラク・クルド自治政府向け売上（74億円）が大きく貢献
- 21/3期は上記の反動減、ロックダウンの影響により減少も、中期的な成長ポテンシャルは高い

3-2-2をご覧ください。

続いてアジアですが、前期はカンボジアでの売上高26億円を中心に、非常に好調に推移しました。

今期は、そのカンボジア向け売上の反動減、ロックダウンの影響により65億円まで減少となりますが、来期からは安定的な成長を見込んでいます。

中東等の新興国ですが、前期はイラク・クルド自治政府向け売上74億円が、業績に大きく貢献しました。

今期はその反動減、ロックダウンの影響により45億円を見込んでいるものの、イラク・クルド自治政府での成功事例により、周辺国からの引き合いが強いです。計画としては、3年目に65億円を見込んでいますが、うまくいけば、これを上回るポテンシャルがある地域とみています。



### 3-3 国内事業の展開

#### ■ 接触を削減する「新たな生活様式」の実現に向けた、スマートソリューション事業の拡大

##### 「新たな生活様式」を実現する スマートソリューション事業

■ セキュリティソリューション  
セルフ内見や置き配達を  
可能にするキーレスエントリーシステム



■ スマートメータリングシステム  
電気、ガス、水道などを  
遠隔検針



■ IoTソリューション  
家電などセンサーによる  
遠隔制御



■ エネルギーマネジメントシステム  
設備の電力消費を  
遠隔管理



##### アフターコロナに貢献する付加価値

非対面

非接触

リモート化

次に、国内事業展開について説明します。  
3-3をご覧ください。

国内ではスマートメーターの需要がピークアウトする中、  
当社の強みである「遠隔制御」技術などを中心に  
スマートソリューション事業を拡大していきます。

政府より「新たな生活様式」への移行が、推進されておりますが、

- ・セキュリティソリューション
- ・電気、ガス、水道などのメーターを遠隔検針するスマートメータリングシステム
- ・家電などをセンサーで遠隔制御するIoTソリューション
- ・商業施設などの電力消費をリモートで管理する  
エネルギーマネジメントシステム

これらのソリューションを通じ、アフターコロナに求められる付加価値である  
非対面、非接触、リモート化を実現していきます。

本日は、現在特に需要が高い、キーレスエントリーシステムについて  
ご紹介いたします。

オペロ

## ■キーレスエントリーシステム『OPELO』

- ・2018年より賃貸不動産管理会社向けのサービスとして提供開始
- ・“鍵の管理”に伴う時間、人的資源の削減を解決



OPELO

## 特徴① 空室時/入居時モード切替

- ・空室時 ⇒ ワンタイムパスワードによって不特定多数が出入り可能
- ・入居時 ⇒ 入居者が設定した解錠方法のみで入室可能

## 特徴② 高いセキュリティ

- ・ネットワークを利用しないため、ハッキングの被害なし
- ・既存のシリンダーへ完全固定するため、剥がされる被害なし

## 特徴③ 多様な解錠方法



IC 乗車カード

おサイフ携帯

シリンダー錠

固定の暗証番号

非常時に外部から給電する端子

Copyright (C) 2020 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved 17

3-3-2をご覧ください。

OPELO(オペロ)は、2018年より、当社が提供するキーレスエントリーシステムです。このシステムは、賃貸不動産管理会社からの、鍵管理業務の簡素化という要望で、開発を進めたシステムです。

OPELOには、大きく3つの特徴があります。

一つ目は、賃貸物件が空室のときも、入居中でも、同じスマートキーのまま対応できます。こちらに記載のとおり、空室時と入居時の切り替えを行うことにより、鍵の取替は不要になります。

二つ目の特徴として、高いセキュリティが挙げられます。インターネットやWi-Fiなどの、ネットワークにつながっていないため、ハッキングなどの被害はありません。

三つ目の特徴として、多様な解錠方法があります。当社のスマートロックは、スイカ、PASMO、Edyなどの非接触型ICカード、おサイフケータイなどをかざすだけで開けることができます。そのほか、既存のシリンダー錠や、暗証番号でも開けられるため、どの世代の方でも簡単に使っていただけます。

#### ■ キーレスエントリーシステム『OPELO』の広がる活用事例



- 賃貸物件向け（採用済）
- ・ ジェイエーアメンティールハウス様、トヨタホーム様 他ご採用



- 貸し会議室・レンタルスペース向け（採用済）
- ・ スペースイ様ご採用



- 民泊物件の時間貸しサービス（発表済）
- ・ 空き部屋をワークプレイスとして時間貸し



- シェアハウス向け（採用済）
- ・ KUROFUNO様ご採用



- アフタースクール、塾など（採用済）
- ・ マンションの共用施設など空きスペースを学童保育やお習い事教室用に使用
- ・ 民間学童保育事業者ご採用



- 賃貸物件セルフ内見サービス（採用済）
- ・ 内見希望者が不動産会社の立会いなしで、希望の日時にセルフで内見
- ・ タイセイハウジー様ご採用



- 置き配サービス（新たな取り組み）
- ・ オートロックエントランス向けのシステムを開発
- ・ 不在時でも玄関前までの配達を可能に

3-3-3をご覧ください。

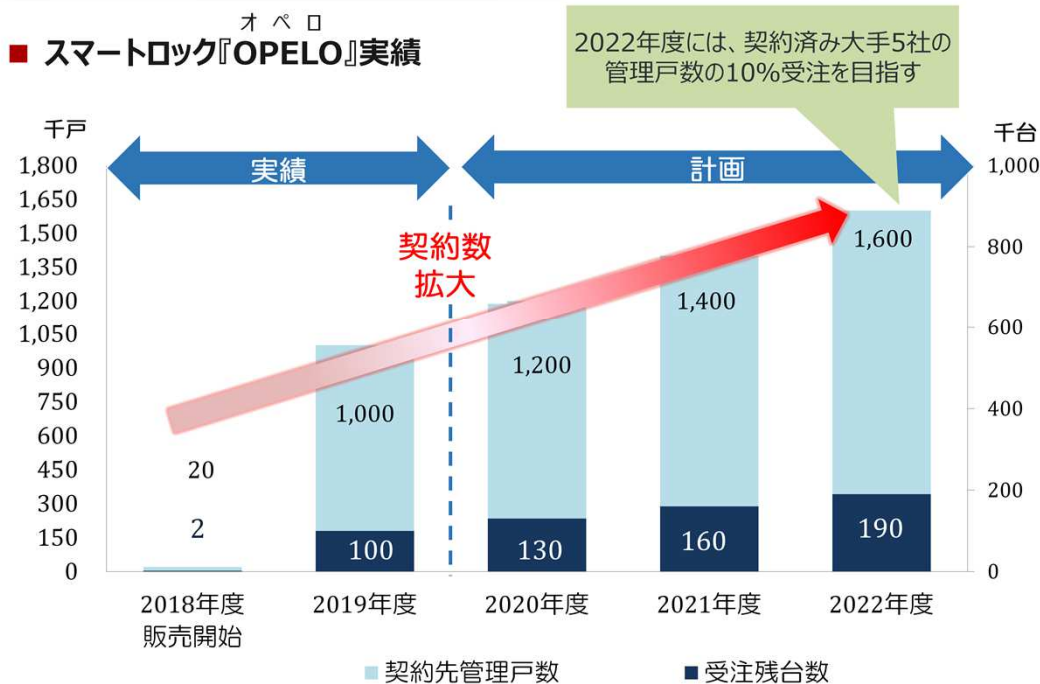
当社のキーレスエントリーシステムは  
様々な業界で採用され、パートナーシップが進んでいます。

例えば、貸し会議室やレンタルスペース、シェアハウス、  
民泊向け物件の時間貸しサービスなどがあります。

さらに、内見を希望するお客様へワンタイムパスワードを発行することで  
不動産管理会社の立会いなく、賃貸物件を内覧いただける、  
セルフ内見サービスなどがございます。

また、新たな取り組みとして、今後はオートロックマンションなどの  
エントランスへのスマートロック設置を進め、  
宅配業者が、指定された日時に、ワンタイムパスワードで入館、  
玄関前へ宅配物を置く、「置き配」の支援サービスを  
パートナー企業との連携で検討しております。

### 3-3-4 国内事業の展開（実績）



3-3-4をご覧ください。

OPELOは、2019年度末時点で、賃貸不動産会社トップ20社のうち、5社と契約を締結しており、受注台数は10万台を超えています。

これに加え、様々な業界、業種での活用範囲を広げていきます。

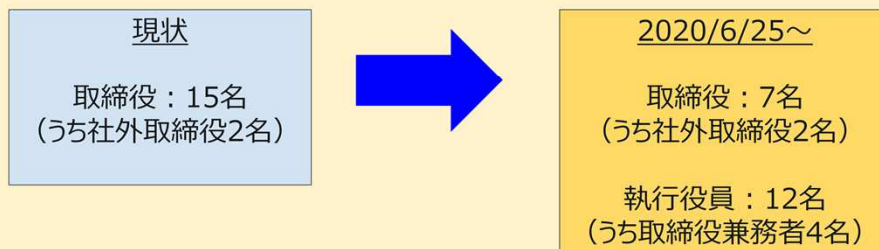
3年後の2022年度には、契約済み大手5社の管理物件戸数の10%、約19万台の受注を目指します。

### 3-4 グループ経営基盤の強化

#### 執行役員制度の導入

グループ経営の機動性を高める目的で、2020年6月25日から執行役員制度を導入予定

取締役：グループ経営の意思決定、業務執行の監督  
執行役員：明確な権限、責任に基づく事業の執行



新型コロナウイルス拡散により延期を決定したものの、グループガバナンスの更なる強化へ向けて、持株会社体制化についても、継続的に検討

最後に、グループ経営基盤の強化について説明します。

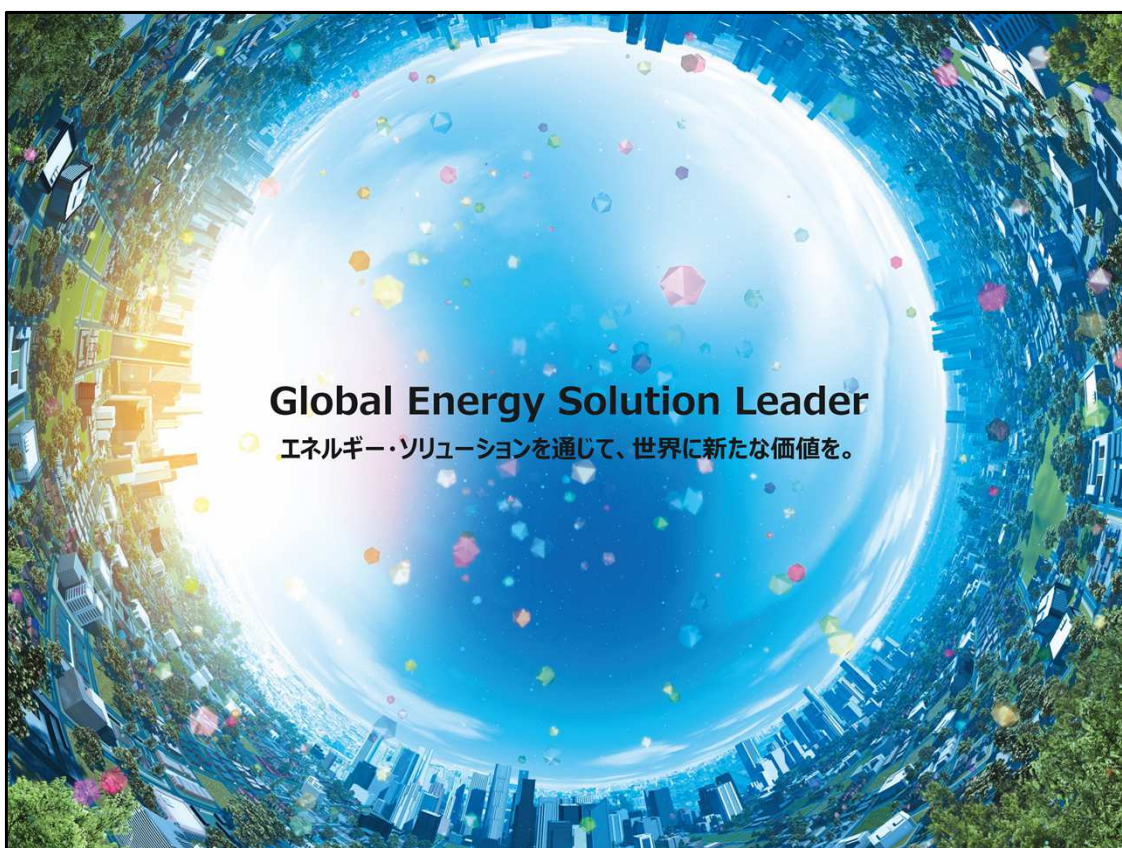
3-4をご覧ください

当社は、数年前までは大崎電気単体を中心としたグループでしたが、現在は、大崎単体に加え、関西圏を担うエネゲート、海外事業を担うEDMIの3社を中核としたグループになっております。

そこで、グループ経営の強化を目的に、大崎電気の役員体制を変更します。具体的には、現在15名の取締役、うち2名の社外取締役の体制を、今月の株主総会後に、7名の取締役、うち2名の社外取締役の体制とします。この7名がグループ経営を推進し、執行役員12名が事業執行責任を担います。

また、緊急事態宣言により、本社社員の在宅勤務が続くなか、延期を決定した持株会社体制への移行についても、新型コロナウイルス拡散が落ち着きましたら再検討し、更なるグループ経営管理体制の強化を図ります。





最後に本日の説明のまとめですが、今期は新型コロナウイルス感染拡大により、非常に難しい局面にあります。

しかしながら、当社製品・サービスの需要は、社会インフラとして必要なものであり、需要は確実に回復します。

また、アフターコロナの接触削減を目指す、新たな生活様式への動きも、当社業績の後押しとなると考えています。

まずは足元の危機管理をしっかりと行ったうえで、中期的な成長へ向けて着実にグループ強化を図ってまいります。

ご清聴ありがとうございました。

## 参考資料

---

- ・業績データ
- ・グローバルマーケット
- ・当社グループのESG
- ・株主還元方針



## 国内外別業績

(百万円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 計画
<b>売上高</b>	<b>86,159</b>	<b>78,780</b>	<b>82,089</b>	<b>90,069</b>	<b>80,000</b>
国内	63,448	60,158	57,735	53,475	50,000
海外	22,710	18,621	24,353	36,593	30,000
<b>営業利益</b>	<b>7,692</b>	<b>5,544</b>	<b>4,299</b>	<b>3,691</b>	<b>1,500</b>
国内	7,023	6,010	5,454	3,237	1,500
海外	670	-461	-1,148	440	0
調整額	-6	-4	-7	13	0
<b>為替</b>	<b>78.75円/SGD</b>	<b>81.26円/SGD</b>	<b>110.43円/USD</b>	<b>109.05円/USD</b>	<b>109.05円/USD</b>

※ 1 国内：大崎電気工業及び国内子会社 海外：海外子会社（管理会計上の参考値）

※ 2 2021年3月期計画は、新型コロナウイルス拡散による影響を織り込んでいます。

## 地域別 売上高（外部売上）

（百万円）

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 計画
日本	63,236	59,927	57,735	53,475	50,000
海外	22,923	18,852	24,353	36,593	30,000
オセアニア	9,110	7,807	9,522	9,422	8,500
ヨーロッパ	5,248	3,858	4,449	9,558	10,500
アジア	7,431	6,168	7,086	8,841	6,500
その他	1,133	1,017	3,295	8,770	4,500
連結	86,159	78,780	82,089	90,069	80,000

※ 1 有価証券報告書開示ベース（海外売上に日本からの輸出額を含む）

※ 2 2021年3月期計画は、新型コロナウイルス拡散による影響を織り込んでいます。

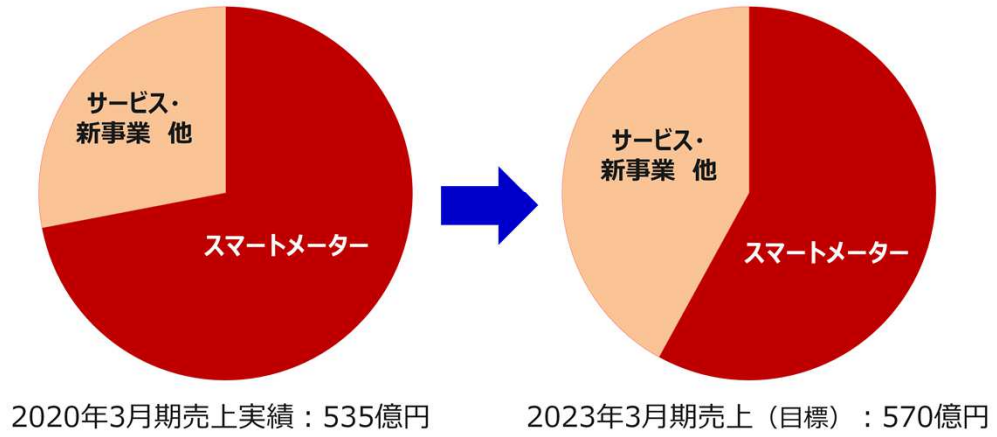
## 計測制御機器事業セグメント売上高（外部売上）



(百万円)

	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
<b>メーター</b>	38,820	49,591	43,439	45,805	52,402
国内 電力量計	25,557	34,973	31,947	31,149	27,136
スマートメーター	20,489	32,089	29,890	28,942	23,948
その他	5,067	2,884	2,057	2,207	3,188
海外 スマートメーター	13,263	14,618	11,492	14,655	25,266
監視制御装置	9,447	10,697	9,717	12,156	14,282
盤製品	8,208	8,066	7,144	7,097	7,847
計器用変成器	3,965	4,400	4,925	4,772	4,767
その他（調整額含む）	12,977	12,206	11,690	10,371	9,010
合計	73,420	84,962	76,917	80,203	88,310

※管理会計上の参考値



電力量計の規格

**ANSI規格**  
ソケットタイプ（計量部と配線部  
をコンセントで接続）  
⇒北米、台湾、フィリピン等



**IEC規格**  
ボトムタイプ（計器の下部で配線接続）  
⇒世界の約80%が使用



**OSAKI・EDMIの商圏**

## 海外ロックダウン（都市封鎖）の状況（6月上旬時点）

### ○ 主な事業展開国

国名	政府の対応
英国	・3月下旬からのロックダウンを、5/11に緩和計画発表、段階的に緩和が進行中
オーストラリア	・3月中旬からのロックダウンを、5/8に緩和計画発表、段階的に緩和が進行中
ニュージーランド	・3月下旬からロックダウン、5/14より条件付きでロックダウン緩和

### ○ 本社機能

国名	政府の対応	当社グループの対応
シンガポール(海外グループ本社)	・4/7～6/1: Circuit Breaker(都市封鎖) ⇒6/2より段階的に緩和 * 6/8から、中国の一部地域との公用、商用目的での出入国の許可を発表	・2020/4/7より在宅勤務を義務付け ・6/1の後も、在宅勤務70%以上義務付け

### ○ 主な生産国

国名	政府の対応	生産状況
マレーシア: 自社工場	・3月中旬よりロックダウン(～6/9) ⇒ソーシャルディスタンス条件に生産再開許可	・5月中旬より条件付きで生産再開 ⇒段階的に生産数増加
中国(深セン): 自社工場		・2月中旬より通常生産再開
中国(山東省): 英国向け電気メーター外注先		・2月中旬より通常生産再開
中国(浙江省): 英国向けガスメーター外注先		・2月中旬より通常生産再開
インドネシア: 自社工場	・4月中旬よりロックダウン	個別認可取得により通常生産継続中
ルーマニア: 英国向け通信ハブ外注先	・ロックダウン(3月中旬～5/14)、 5/15から警戒レベルを緩和	・通常生産継続中

## Environment

事業プロセスにおける環境への配慮

環境課題  
の解決

CO<sub>2</sub> 排出削減に寄与する  
製品・サービスの提供

スマートメーターに加えて、省エネ、効率的なエネルギー活用、使用状況の見える化を実現する製品・サービスを国内外で提供

自らの環境  
負荷を低減

資源循環の促進

環境調和型製品の製造  
廃棄物の削減・再資源化率向上  
有害化学物質の削減

## Social

事業を通じた社会的課題の解決

計測・制御  
技術

測る・つなげる技術で安心・  
安全と新たな価値を提供

ビル、街、店舗、マンション、家屋、農地など幅広いシーンで快適で安心・安全な環境づくりに取り組み、AI・IoTを活用した新しい価値を創造

多様性

人材のダイバーシティと  
様々な人々との共働

国・業種・組織の枠を超えて様々な人々がつながり共働して、新しい価値の創造に挑戦

EとSを推進するガバナンス

価値創造とリスク最小化に取り組む

## Governance

経営

取締役会の実効性

ガバナンスの要である取締役会の実効性評価を毎年実施  
→ 継続的な改善で実効性を高める

監督機能

指名・報酬諮問委員会

2019年2月に指名・報酬諮問委員会を設置。  
委員長は社外取締役。構成メンバーの過半は社外役員  
→ 公正性・客観性・透明性を確保



## 配当方針

- 安定的な配当を前提として、業績に応じた成果配分を行う
- DOE（株主資本配当率）2%と配当性向30%のいずれか高い額を目安に決定

		17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期計画
1株当たり配当金	中間/期末	8円 / 12円	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円
	年間	20円	20円	20円	20円	20円
配当金総額	年間	959百万円	976百万円	978百万円	978百万円	
連結配当性向	年間	24.8%	36.6%	54.1%	81.7%	980.4%
DOE	年間	2.5%	2.3%	2.2%	2.2%	2.2%

## 自己株式の取得に関する方針

- 資本効率向上を重視し、手持ちキャッシュ、運転資金、直近の業績や株価、投資案件の有無等を総合的に勘案して継続的に検討

**大崎電気工業株式会社**  
東証1部：6644

**<お問い合わせ先>**

**IR広報部**

**Tel: 03-4476-8046**

**[ir@osaki.co.jp](mailto:ir@osaki.co.jp)**

- 本資料は監査を受けていない参考数値を含んでいます。
- 本資料に記載の将来の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料の複製、内容の転載はご遠慮ください。